

(公民館だより)

広報 ひがしの

No.147
2015. 9.15

人口 1733 人
(男) 850 人
(女) 883 人
世帯数戸
618 世帯
(H27.9.1 現在)



国宝 風神雷神図 (風神)

俵屋宗達の屏風画

2曲1双で紙本金地着色。154.5×169.8cm。建仁寺の所蔵です。
建仁寺では、高精細複製作品の屏風画が展示されております。

水墨画による 「風神」

楽しい墨絵の会 永野 司 画

鏡開き

伊藤振興会長・松浦実行委員長
千藤市議会議員・恵那市長の皆さん

東野 納涼夏祭り



8月8日(土)

恒例の東野納涼夏祭りが開催されました。

開始時刻近くに、雲行きが怪しくなり、雷と雨が心配されましたが、皆さんの心がけの良さから、雨が落ちることも無く、無事開催することが出来ました。

地域内外から、700名余りの来場者が訪れ、会場は大賑わい。五平餅や焼きそばに舌鼓し、子ども達は、おもちゃコーナーや綿菓子コーナーに大行列。

岩村城女太鼓に鳴子踊り、フラダンスが会場を盛り上げる中、お楽しみの大抽選会。当選者は笑顔一杯で大喜び。

地域住民が一堂に会する機会の少なくなった昨今。本当に多くの皆さんに集まっていたくことが出来ました。実行委員の皆さん・自治連の皆さんなど、運営に携わって頂いた方々、早い時期から準備を頂きご苦勞様でした。感謝申し上げます。

「東野おはなし会 うちんぱい」のみなさん

祭りの始まりまでの時間、更らしく

はかばかしくおむすめ

ゆきおんな

きつねのほんおとり

とまつの「涼

しくなる紙

芝居」を読み

聞かせて

くださいま



一緒に読み聞かせをして頂ける仲間を募集中です。

ファイヤーの花火!

楽しい夏のひと時は、あっと言う間に過ぎ去りました。



祭りのオープニング

子供郷土クイズ

教頭先生と伊藤子供会育成
会会長さんが学校のことや東
野のことをクイズにしてくれ
ました。正解率は?



綿菓子コーナーには大行列
消防団の皆さんお疲れさま
でした。



余興の鳴子踊り!
軽快なリズムと踊りに、
観客もバババでした。



会場を埋め尽くす、多く
の来場者。
楽しい夏の夕べを満喫!



祭りのハイライト 東野音頭!

今年も、小学生の皆さん
が「ささゆり会」さん指導
のもと、事前に練習をして
踊りの輪に加わってくれ
ました。

東野小学校「夏休み一作品展」

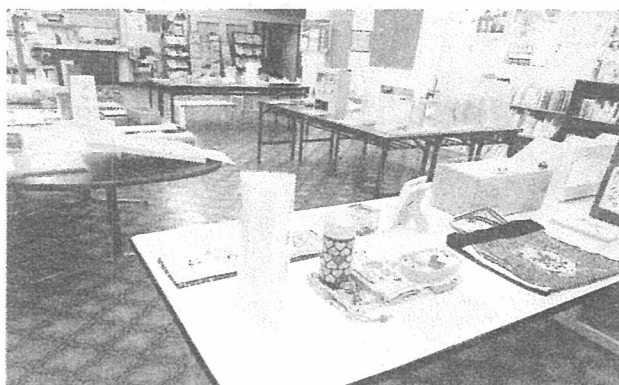
コミュニティセンターロビーにて

恒例となった東野小学校児童による「夏休みの作品展」をコミュニティセンターロビーにて開催しています。

展示期間は、8月27日(木)から9月19日(土)までです。コミュニティセンターでの展示ということで、来館される多くの方に見て頂くことが出来、「アイデアがすごいね」「よく考えてあるね」「私たちの頃と違って上手な作品ばかりだね」「5・6年生の作品を見ると成長した事がよく分かるね」など、じっくりと見入ってみえました。

どの作品も、創意工夫が一杯の力作ばかりです。まだご覧になって見えない方、子ども達の思いを是非見に来て下さい。

高学年作品↓
低学年作品←



歴史講演会

「東野の中世石塔を考える」

7月25日(土)「遠江中世石塔研究会」より松井・溝口両先生をお招きし、五輪塔に関連した講演会が開催されました。

両先生は、5年ほど前から恵那地域の五輪塔を中心に調査を行っておられ、今回調査報告を兼ね、「東野郷土史研究会」の声かけで実現したものです。

当日は、60名余りの皆さんが、五輪塔の特徴や時代背景などを熱心に聴講しました。今年の文化祭にて、資料展示を行う予定です。是非ご覧下さい。



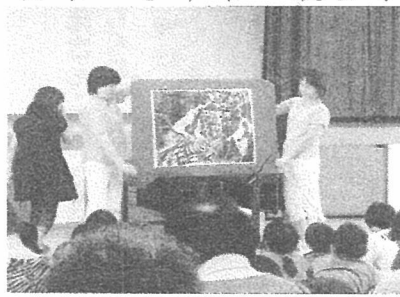
市民三学東野塾

「東野の昔ばなしに学ぶ」

7月29日(水)市民三学地域塾の一環として、平成十年に長谷川多平さんが編集された「東野に伝わるむかしばなし」を東野お話しの会「ちんぷい」さんの朗読で、学びました。

「夜泣き桜」は、東野小小板先生が平成十年に当時の5年生と作られた版画を紙芝居風に朗読。

集まった小学生から年配の方まで、70名余りが、八つのお話に聞き入っていました。当日の資料の予備があります。必要な方は申し出下さい。



文芸

○花無山八月句

市川 芳子

・終戦日獄の手休め黙禱す

内木 伊都子

・慈雨のあり後の静けさ涼あらた

西尾 美恵子

・亡き母の伝授の紫蘇の漬けにけり

松本 はるか

・石工衆大樹の木下三尺寝

千藤 恵三

・若荷汁明日の約束忘れまじ
(みようが)

○サークル短歌

鈴木喜一郎

・幾万の星の間を縫いながら

帰るところの有るかぐや姫

・再びは逢うこともなき球児らは

激戦を終え礼をして去る

市川茂子

・行軍の映像に子を探しいし

祖母の想いと靖国参る

・五時に起き畑に行くのが日課となる

猛暑続く八月の日々

赤尾 繁夫

・滝しぶきまともに濡れて休憩す

さあ潜ぎ上がる峠白雲

・明知線蒸気機関車廻る

夢と現の平成も可し

地域の話題等

防災訓練が行なわれました

8月30日(日)南海トラフ地震(M8.0)が発生し、恵那市においても震度6弱の揺れがあったとの想定のもと、防災訓練が行われました。

当日は、午前9時までに自治連役員・自治会長・消防団の皆さん60名ほどが、コミュニケーションセンターに集合。各自治会の安否情報を報告し、訓練開始。

伊藤常光自治連合会会長の指揮にて、防災マップの確認・小学校プールの浄水装置の見学・防災器具庫の点検・アルファ米による非常食の試食を実施しました。

参加者の皆さんは、真剣なまなざしで取り組みされ、改めて防災意識の向上を図られました。



水泳教室

8月6日(木)中嶋寿恵さん率いる多治見西高校水泳部の皆さんが、東野小学校プールにて水泳指導をして下さいました。

今年で3回目と、夏休みの恒例行事となりました。この日を楽しみにしていた子ども達も、年の近いお兄さん・お姉さんの指導の甲斐あって、短時間でうまく泳ぐコツを覚え、夏休み中にもっと上達するぞと、新たな目標を口にしていました。



お兄さん・お姉さんが教えてくれました。

夏休み社会見学

8月20日(木)

夏休み恒例行事となった社会見学に行きました。青少年育成会議の主催で、3回目となる今年には、小中学生27名と保護者他8名が参加。

学校や家庭ではなかなか行く機会の少ない施設、航空自衛隊浜松基地(エアパーク)・うなぎパイファクトリー・浜松楽器博物館を見学しました。



エアパークにて

飯沼川川遊び(マスつかみ)

8月8日(土)晴天の中、青少年育成会議主催にて2年ぶりとなる川遊び(マスつかみ)を実施しました。50名余りの子ども達が参加。マス300匹とうなぎ10匹を放流。どの子ども達も必死の形相でさかなと戯れていました。中には一人で10匹以上も捕まえた子。うなぎを捕まえ、大はしゃぎの子もあり、子ども達の歓声に心癒やされる一時でした。川遊びの機会が少なくなったこの頃、来年も是非実施出来たらと思います。

また、川遊びに備え、「飯沼川を通じて郷土愛を育てる会」の皆さんが、河川敷の草刈りと清掃を実施して下さいました。

いつもありがとうございます。



消防秋期訓練

8月30日(日)、東野・大井・長島の3分団合同で実施されました。

サイレンの音と共に、各分団が阿木川公園に集結。南海トラフ地震にて火災

が発生したとの前提で手びろめによるホース延長にて、一斉放水。日頃の訓練ぶりを披露しました。



東野体協コーナー

○第11回市民体育大会夏季大会

8月16日(日)・30日(日)

蒸し暑い気候の中、第9回市民大会夏季大会が開催されました。8月中旬に開催された競技について、東野の選手の結果を報告します。

- 8月16日
- クレール射撃 2位
- バドミントン 2位
- 8月30日
- レクバレー 2位



クレール射撃競技

これから予定している本年度の事業をお知らせします。

9月以降のスポーツ行事のお知らせ

○第40回東野住民ふれあい体育祭

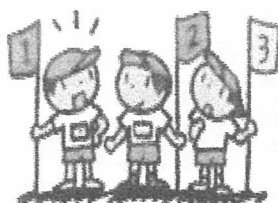
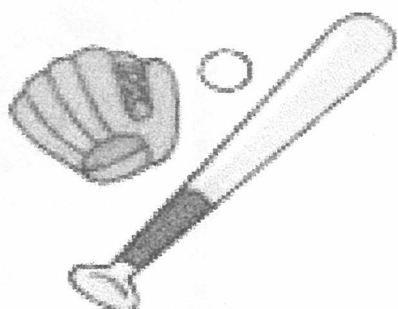
10月18日(日)午前9時から

本年度で40回目を迎える住民ふれあい体育祭ですが、今年も張り切って住民の皆様の参加をお願いします。東野体育協会の役員・推進委員の皆様には前日から準備をお願いいたしますが、よろしくご協力願います。

○第40回東野住民ソフトボール大会

期日 11月1日(日)

このほか、市民体育大会への参加を予定しております。特に「駅伝」「カーリング」の参加者を募集しています。個人でまたは団体で参加をご希望される方は、東野体育協会事務局までご連絡ください。今後とも東野体育協会の行事にご参加、ご協力よろしく願います。



小学校・こども園運動会	9月19日(土)
東野ふれあい体育祭	10月18日(日)
ノルディックウォーキング	11月15日(日)

健幸都市宣言

豊かな自然に恵まれた恵那市のなかで、健康で生きがいのある暮らしを続けることは私たちの願いです。そのため、恵那市民一人ひとりが健全な食生活と運動に親しみ、より良い生活習慣を身につけ、自らの健康づくりを進めていきます。そして、健やかで幸せにと願いを込めた「健幸」をもとに、子どもからお年寄りまで生涯にわたり健やかで心豊かに暮らすことのできるまちをめざして、ここに「健幸都市えな」を宣言します。

- 健康寿命日本一をめざしましょう
- いきいきと健康づくりに励みましょう
- 健やかで幸せなまちをつくりましょう

東野まちづくり委員会

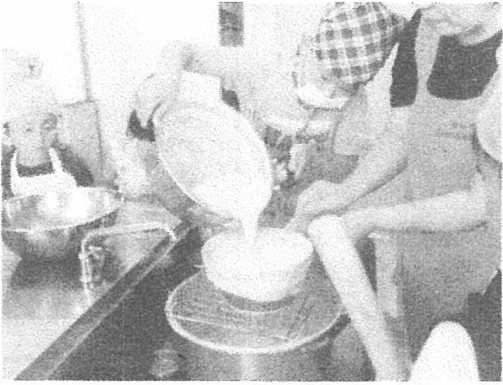
夏休み子ども教室

◆7月28日(火)木工では中村良二さん指導による巣箱作りと灯籠作り



まちづくり委員会教育文化部
会が毎年開催する「夏休み子ども教室」も今年で6年目となります。8日間で延べ200人もの小学生が参加しました。「こどもたちが楽しめることをやろう」とその道に通じた地域の先生の支援により始まったこの教室。今年も木工・調理・銅版画・切り絵・折り紙など、こどもたちも充実した夏休みを過ごすことができたことでしょう。

◆7月30日(木)桐山智子先生をはじめとする 恵那市食生活改善の方たちに豆腐作りを教えてくださいました。



◆7月31日(金)土方紀代子先生の

「もったいない料理」

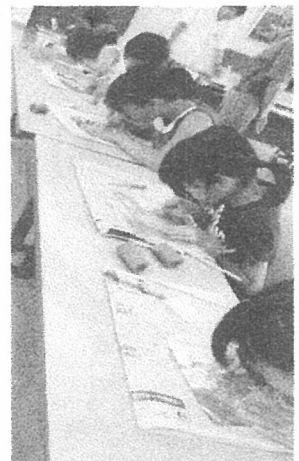
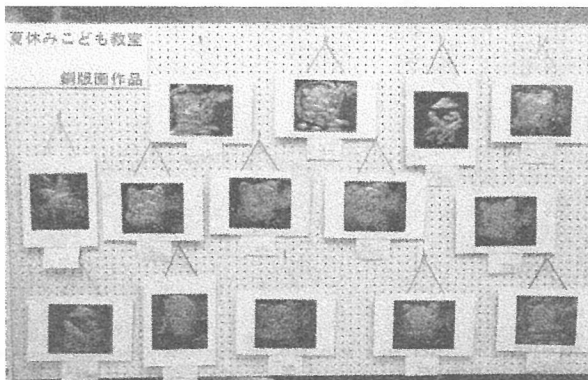
先生が小学校1年生の時に使っていたリュックサック。遠足にはこの中におにぎり、ゆで卵、みかん 1/4 個を持って行ったそうです。



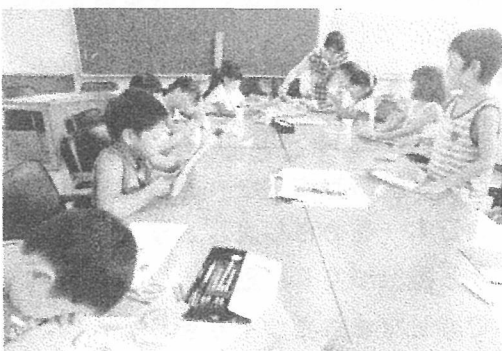
くず米で作る
ピラフ



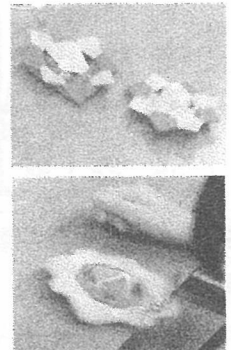
◆8月19日(水)銅版画 3年～6年生を対象に千藤重明さんの指導により銅版画を作成。作品は公民館に展示されました。



◆8月19日(水)篠原佳代子先生指導による切り絵 (1・2年生の子どもたち)



◆8月20日(木)アヤメ会の方たちに折り紙を教えてくださいました。カラフルな色紙ですてきなコマができました。



◆ふれあいサロンシロヤシオ

8月25日(火)「平和と命の大切さを考える会」



戦争体験を語る市川茂さん
当時の厳しい訓練や海の特攻といわれた「回天」のお話や見送った友人への思い。「人間が人間らしく扱われなかった」

5歳の時に従兄を戦争に見送った土方紀代子さん。戦地の従兄から届いた手紙に「従兄に送る70年目の返信」という手記を書かれた。引くに引けない状況で戦地へ行ってしまった本人の無念さを感じる。



お二人のお話のあと、参加者の意見交流会を行いました。「戦争は人間の心無くする」などたくさん聞かれるが、戦争の時代を経験してきていない世代の人にはわからないこと。かつてアメリカと戦争をしたということを知らない若者もいる。戦後の生活も大変だった…供出や配給、「みんなそういう時代だった」と体験を語り合いました。最後に、次の世代の人たちにこのことを伝えていくのは難しいが「命を大切にすること」を家族みんなで伝えていこう！と平和への気持ちを新たにしました。

社協東野支部 サロン活動

◆ふれあいキッサ虹

8月28日(金) (毎月第4金曜日開催)

今年の5月から開催していますが、だいぶ定着してきました。「コーヒーと手作りお菓子」と「誰でも参加できる」を合い言葉に常連さんをはじめ、誘い合ってきた方や、ちょっと散歩のついでに立ち寄った方などさまざまな方にお越しいただいています。

今月は長島町久須見の安田栄作さんのマジックショーで盛り上がりしました。



東野地域協議会からのお知らせ

地域懇談会を開催

地域の課題について意見交換

8月21日、東野コミュニティセンターで東野地域懇談会が開催され、市長をはじめ、市関係者、地域の皆さん約60人が参加しました。

懇談会では、東野地域から「防災対策(保古ノ湖、阿木川ダム、危険地区)について」「公共交通対策(公共バスからの脱皮)について」「空き家・少子化について」「道路交通安全について」の4つの課題について提案を行い、参加した皆さんから意見を伺った後に市執行部から回答を受けました。



また、自由意見として、「東野振興事務所の業務範囲が縮小している。もっと充実させるべき」「多くある各種助成制度についてもっと熟知して、その人その人に合った支援をすべき」「東野にある養蚕の歴史史跡・山本風穴の整備保存を」といった意見が出されました。

お知らせ 10月1日に両島橋の完成式を開催

現在、工事が進んでいます市道袖畑笠作線で、昨年の下橋戸橋に続いて、両島橋の完成を祝い、10月1日に完成式を開催し、テープカット、3世代夫婦・東野こども園児・小学校児童による渡り初めを行います。ぜひ皆さんもご参加ください。

◆日時 平成27年10月1日(木) 午前10時から

◆内容 神事、完成式典、テープカット、渡り初め

東野地域における主な行事予定

9月

- 17日(木) 市民三学先進地視察研修
- 19日(土) 小学校・こども園運動会
- 21日(祝) 東野地区敬老会
- 26日(土) 27日(日) みのりのみり祭

10月

- 1日(木) 西島橋完成式(渡り初め)
- 11日(日) 保古山 城ヶ峰神社祭典
- 18日(日) 住民ふれあい体育祭
- 25日(日) 歌舞伎公演

11月

- 1日(日)～3日(祝) 東野文化祭
- 1日(日) 音楽祭
- 15日(日) 小学校資源回収
- 23日(祝・月) 開墾記念碑、豊受神社祭典

読書の秋

中国の唐時代の詩人 韓愈の漢詩に「燈火稍く親しむ可く」(どうかようやくしたしむべく)という一説があります。

・秋の夜は灯火の下で読書をするのにふさわしい・ここから秋が読書にふさわしい季節として「秋燈」や「燈火親しむ」といった表現が使われるようになった。

これが「読書の秋」の由来のひとつと思われます。

東野コミュニティセンターでは、幅広い年代向けに新刊から趣味の本まで、たくさんのお本が揃っています。是非ご利用下さい。

平成27年度後期市民講座

東野コミュニティセンターでは、後期も7つの講座を開講します。

詳しくは、9月1日の広報配布時に届けられる恵那市民大学ガイドブックをご覧ください。

受付開始は
一般対象

9月12日(土) 9時～

子ども対象

9月12日(土) 13時～

ただし、前期と同じ講座を受講される場合は、9月17日(木)～になります。

・夏休みこども講座

コミュニティセンター主催にて4つの講座を開講しました。

今年は、どの講座も定員を大幅に上回る申込があり、延べ137名の小学生が「ピザ作り」「絵本作り」「エコクラフト」「科学実験」に参加してくれました。



手作りピザ作りに挑戦!



絵本を作ろう



エコクラフトで作る



おもしろ科学実験

編集あとがき

人と会うたびに「毎日暑いて!」が挨拶代わりだった様な今年、猛暑日が続いた夏も、いつの間にか日の暮れが早くなり、随所に秋を感じるようになりました。

今年は、昭和で言うところの90年となります。戦後70年。日航123便墜落から30年・高校野球100年・オウムサリン事件から20年など多くの節目の年として、テレビや新聞などで特集を目にする事が多くありました。

先日、ある文集を目にする機会がありました。ここに、ふと目に留まった一節を紹介させていただきます。

「まにあわなかったりんご」

・その年(昭和二十年)の秋、赤痢がはりました。ひどい食糧不足が続いており、わずかな米粒に、いもづるや野山の草などが混じった、どろどろの雑炊といったものばかりでした。みんな栄養不足で体が弱っているところへ、赤痢菌が侵入してきたのですからたまりません。うちでもこども四人のうち、私と弟がかかりました。

弟の症状は重かったのです。今のようないい薬もなく、栄養のある物を食べさせてくても、何もなかったのです。お医者さんがりんごが良いといわれたので、両親は八方手を尽くして探したのですが、一個もみつかりませんでした。弟は、四才の誕生日を前にした十一月の寒い朝、とうとう息を引き取りました。・・・知り合いの人が、やと名古屋で見つけたといって、りんごを一つ届けて下さったのは、亡くなったあとでした。

そのりんごは、いつまでも仏壇に供えてありました。・・・〇〇は戦争の始まった年に生まれ、戦争の間だけを生きていて、おいしいものもよう食わずに死んでしまった。・・・店頭に山盛りにされたりんごを見るとお母さんは、この平和を守り続けなければと強く思うのです。

飽食の時代、今では考えられないことですが、私が子どもの頃も「りんご」「バナナ」は病気の時しか食べられない高価な物でした。